

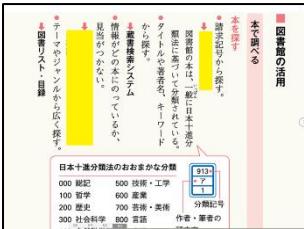
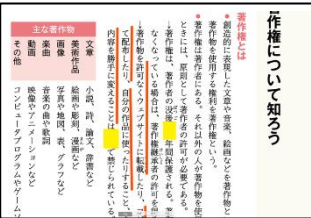
1年

情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう

単元の特徴(ねらい)とデジタル教科書の活用について

学校図書館や1人1台端末を活用して、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりするために、必要な知識や技能を学ぶ。並行して、自分の課題を調べていく活動も設定できる。教科書記載内容そのものが重要であり、それを知識・技能として身に付けさせるために、デジタル教科書に着目点を視覚的に示すことで、効果的に理解を深めさせたい。

指導計画例（全3時間）

学習活動 指導事項/留意点	デジタル教科書活用ポイント
<p>① 効果的な情報の集め方について知る。</p> <p>・「やってみよう」に示された項目の調べ方を考え、その方法で有効な情報が得られるか、学校図書館、1人1台端末で確かめる。</p>	<p>・例えば、「日本十進分類表」や「レファレンスコーナー（司書）に相談」など、ポイントを不透明枠で囲み、生徒に考えさせて、消していく。</p>  <p>The screenshot shows a sidebar with tips on library usage, such as 'Check the classification table' and 'Use the reference corner'. Below it is a table titled '日本十進分類法のおおまかな分類' (Approximate Classification of Japanese Decimal Classification) with categories like 000 General, 100 Philosophy, 200 History, 300 Social Sciences, 500 Engineering, 600 Industry, 700 Agriculture, and 800 Language. A red box highlights the '分類記号' (Classification Number) column.</p>
<p>★② 情報を読み取る練習をする。（次ページ指導案に詳細）</p>	
<p>③ 情報の適切な引用の仕方を考える。著作権について知る。</p> <p>・集めた情報を適切に引用しながら、分かったことや考えたことをまとめる。</p> <p>・出典の示し方に注意して「参考文献」を書く。</p> <p>・著作権の定義や、著作者の許可が必要ない場合について確認する。</p>	<p>・「没後七十年間の保護」や「法律」で禁じられていること、引用のルールなどの重要視しておさえないことを、不透明枠で囲み、生徒に考えさせて、消していく。</p>  <p>The screenshot is titled '著作権について知ろう' (Let's learn about copyright). It explains that copyright is a right granted to creators and lists various types of works: '主な著作物' (Main types of works) including literary, artistic, scientific, and technical works; '著作物' (Works) including text, images, audio, and video; and '著作権' (Copyright) which is the right to control the use of the work. A red box highlights the text '著作権は、著作物の没後七十年間の保護を受ける。' (Copyright is protected for 70 years after the author's death).</p>

★2時の指導案

【本時のめあて】

必要な情報に着目して、内容を解釈する。

【評価】

グラフや文章の中の情報を関連づけて、内容を理解している。

学習活動	◇指導上の留意点 ◆評価	デジタル教科書の活用例 (数字は学習活動の番号)
<p>導入</p> <p>①グラフや表から読み取れることを、言葉で表現できるようにしよう。</p> <p>②グラフの種類や特徴、情報を読み取る方法を理解し、グラフを読むときの留意点を確認する。</p>	<p>◇グラフを示しながら、読み取れることを言葉で表す例を示す。折れ線グラフならば、変化を示すことが目的であるから、「学校図書館の月別貸し出し冊数、3年は、1、2年に比べて4月から9月にかけて、変化が小さい。」など、「○○は、(グラフの中の言葉・数値を、グラフの特徴の言葉を使って表現する)」と指し示しながら、文の型を示して、言葉にする。</p>	<p>デジタル教科書の活用例 (数字は学習活動の番号)</p> <p>・教科書画面にペンで着目点に線を引いたり囲んだりする (②)</p> 
<p>展開</p> <p>③グラフを読む練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアでやってみる。 <p>④P63「やってみよう」で、複数のグラフや文章の中の情報を関連づけながら読み解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを持つ。○、×を書き込む。 ・4人グループで、どこに着目して○と判断したか説明し合う。 ・全体で確認する。 	<p>◇「○○は、(グラフの中の言葉・数値を、グラフの特徴の言葉を使って表現する)」を一つの表、グラフにつき、ペアで数回言わせる。(時間を決めて行ってもよい)</p> <p>◇教科書に思考の根拠となるところに線を引かせる。</p> <p>◆グラフや文章の中の情報を関連づけて、内容を理解している。</p>	<p>・教科書画面に着目した言葉、情報に線を引き、「スタンプ」で○、×をつける。(④)</p> 
<p>まとめ・振り返り</p> <p>⑤グラフや文章の中の情報を関連づけて情報を整理して、内容を正しく読み取るにはどうするとよかったらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に読んで、着目したところに線を引いて結び付けてみるとよい。 	<p>◇生徒の言葉で、まとめさせることで力の定着を図りたい。</p>	